

ハイビジョンプラズマディスプレイ 業務用



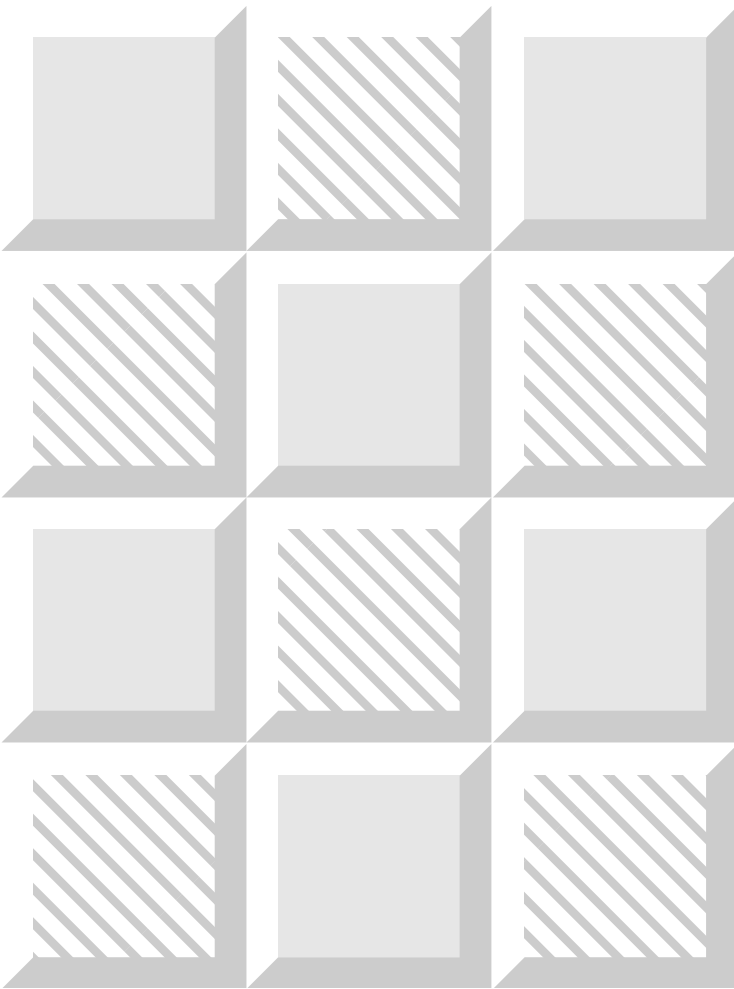
## 取扱説明書

品番 TH-42PHD5

(42V型)

TH-50PHD5

(50V型)



このたびは、パナソニック ハイビジョンプラズマディスプレイをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- この取扱説明書は、50V型（TH-50PHD5）と42V型（TH-42PHD5）共用です。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。  
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

# もくじ

---

安全上のご注意	4	各部のはたらき	10
お手入れ / 上手な使いかた	8	リモコン	10
設置されるとき	8	ディスプレイ本体	11
ご使用になるとき	8		
お手入れについて	8		
付属品の確認	9		
リモコンの電池の入れかた	9		

---

基本の操作	16	オンスクリーンメニューについて	22
電源を入れる	16	メニュー画面一覧	22
入力を切り換える	16	画質の調整 ( PICTURE )	23
スピーカー ( 別売 ) の音量を調整する	16	映像メニュー [ PICTURE MENU ]	23
パソコン画面に切り換える ( PC )	17	ピクチャー [ PICTURE ]	23
オフタイマー ( OFF TIMER )		黒レベル [ BRIGHTNESS ]	23
機能を使う	18	色の濃さ [ COLOR ]	23
入力モードなどを知りたいとき	18	色あい [ TINT ]	24
サラウンド ( SURROUND )		シャープネス [ SHARPNESS ]	24
機能を使う	19	色温度 [ COLOR TEMP ]	24
音声ミュート ( MUTE ) 機能を使う	19	テクニカル [ ADVANCED SETTINGS ]	24
拡大画面で見る ( ASPECT )	20	標準に戻す [ NORMALIZE ]	24

---

各機能の初期設定 ( SET UP )	27
コンポーネント入力切り換え [ COMPONENT /	
RGB IN SELECT ]	27
信号モード [ SIGNAL ]	27
スクリーンセーバー [ SCREENSAVER ]	28
表示言語切り換え [ OSD LANGUAGE ]	30
タイマー設定 [ SET UP TIMER ]	30
修理を依頼される前に	32
保証とアフターサービス	33
仕様	34

接続	12
スピーカー端子の接続	12
接続ケーブルの固定	12
ビデオ入出力 (AV) 端子の接続例	12
コンポーネント / RGB 入力	
( COMPONENT / RGB IN ) 端子の接続例	13
パソコン入力 ( PC IN ) 端子の接続例	14
シリアル ( SERIAL ) 端子の接続例	15

準  
備

音声の調整 ( SOUND )	25	画面位置 / サイズの調整 ( PICTURE POS./SIZE )	26
音声メニュー [ AUDIO MENU ]	25	水平位置 [ H POS ]	26
バス [ BASS ]	25	水平サイズ [ H SIZE ]	26
トレブル [ TREBLE ]	25	垂直位置 [ V POS ]	26
バランス [ BALANCE ]	25	垂直サイズ [ V SIZE ]	26
サラウンド [ SURROUND ]	25	クロック位相 [ CLOCK PHASE ]	26
標準に戻す [ NORMALIZE ]	25	標準に戻す [ NORMALIZE ]	26

使  
い  
か  
た

必  
要  
な  
と  
き

# 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

- お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

## 警告

異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

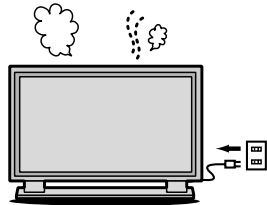
そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

- 故障（画面が映らない、音が出ないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！

電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。



電源プラグを抜く

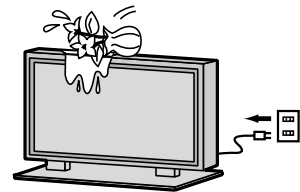


煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。  
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

- 内部に異物や水などが入ったり、本機を落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く



表紙および4ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

# 警告

■ 上に水などの入った容器を置かないでください



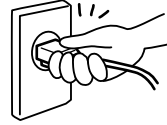
水ぬれ禁止



水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器。)

■ アースは確実に行ってください



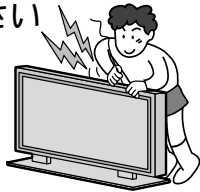
本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。

● アース工事は専門業者にご依頼ください。

■ 異物を入れないでください



禁止



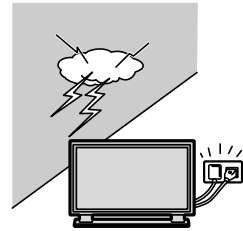
通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

● 特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたらアンテナ線や本機には触れないでください



接触禁止

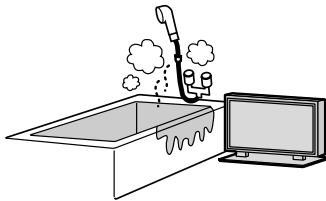


感電の原因となります。

■ 風呂場、シャワー室では使用しないでください



水場使用禁止

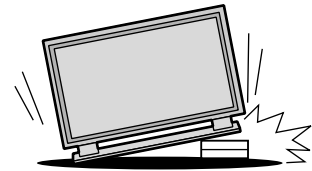


火災・感電の原因となります。

■ 不安定な場所に置かないでください



禁止



ぐらついた台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 壁掛け工事や天吊り工事は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

● 指定の取り付けユニットをご使用ください。

■ 裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。



**高圧注意**

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。内部には高電圧部分があり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

● 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■ ぬらしたりしないでください



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

準  
備

# 安全上のご注意 必ずお守りください

## 警告

### 電源コードについて

- 電源プラグにほこりが付着しないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



ぬれ手禁止  
感電の原因となります。



- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外では使用しないでください



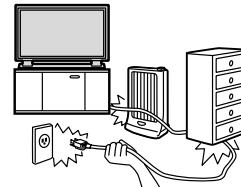
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください



禁止



傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

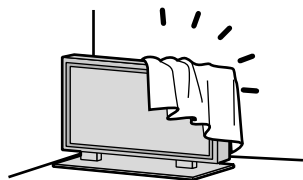
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

## 注意

- 本機の通風孔をふさがないでください



禁止



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

- 据え置きスタンドをご使用のときは、上面・左右は10 cm以上、下面は6 cm以上、後面は7 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

- 接続ケーブルを引っばったり、ひっかけたりしないでください



禁止

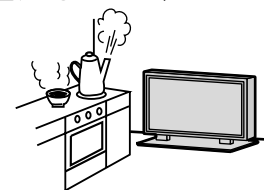
倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください



禁止



調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

- 本機にぶら下がったり、脚立を立てかけるなどしないでください



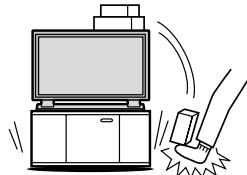
禁止

落下してけがの原因となることがあります。

- 上に重い物を置かないでください



禁止



倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

- 本機に乗らないでください



禁止



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 電池を入れるときには、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意してください



機器の表示通り正しく入れてください。

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



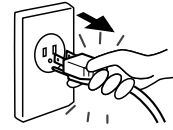
ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされますと、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

- 取扱説明書に記載されている以外の方法で壁などへ取り付けないでください



機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



コードを引っばったり、はさみやペンチで切ったりしないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

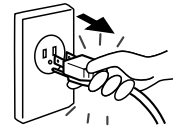
- 移動させる場合は、接続線ははずしてください



コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線や転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。
- 開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。
- 本機に衝撃を与えないでください。

- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

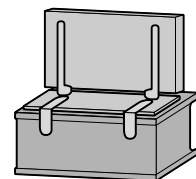
- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください



禁止

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 据え置きスタンド(別売)をご使用になるときは、転倒防止の処置をしてください



地震やお子様がよく登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。

- 据え置きスタンドに付属している転倒防止具を使用してください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 注意

### お手入れについて

- 1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

## お手入れ / 上手な使いかた

### ■ 設置される時

本機の設置については、下記の事項をお守りください。

機器相互の干渉に注意してください。

プラズマテレビの影響を受けて、ビデオやラジオ等の映像や音声に雑音が入ったり誤動作する場合があります。

(発生した場合はディスプレイ本体から十分に離してご使用ください。)

機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

各機器の説明書に従って、接続してください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。

振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

指定の取り付けユニットをご使用ください。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

キャビネットの変形や故障の原因となります。

赤外線通信機器のご使用になるとき

赤外線通信機器(赤外線コードレスヘッドホンなど)をご使用になると、通信障害が発生する場合がありますので、ご注意ください。

本機を移動される時

ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

### ■ ご使用になるとき

本機は残像が発生することがあります。画面モードを「ノーマル」(映像の横縦比 4:3)で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映像の映らない部分とで画面の明るさが異なる

ため、残像(焼き付き現象)が発生します。画面モードをジャストやフル、ズームにしてご覧になると軽減されます。静止画や静止文字を長時間表示した場合、同様に残像が発生します。この場合は、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、少し軽減されます。

ディスプレイパネル表面について

ディスプレイパネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。

傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

適度の音量で隣近所への配慮を

特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

長時間ご使用にならないときは

電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

リモコンで電源を切った場合は約 2.4 W、本体の電源を切った場合は 0.8 W の電力を消費します。

### ■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットはやわらかい乾いた布で汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤(中性)にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。

ディスプレイパネルの前面は時々、やわらかい布でふく

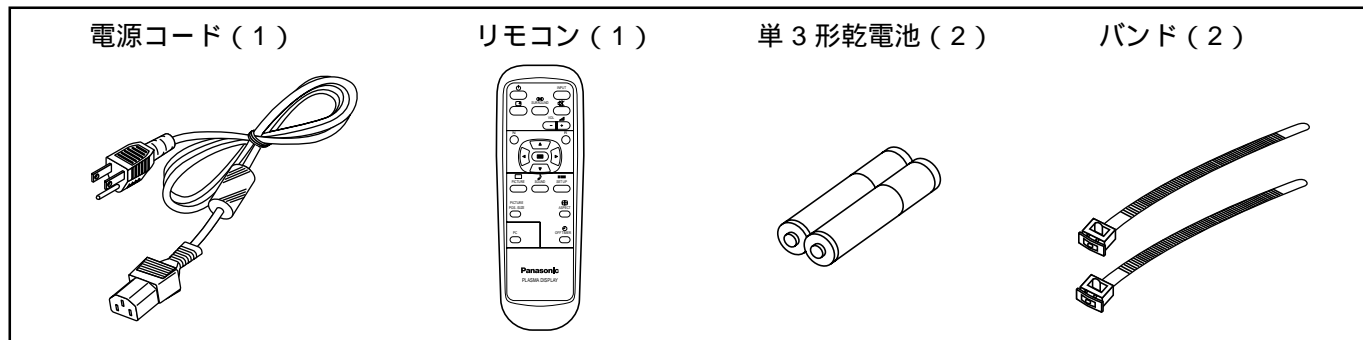
ディスプレイパネルの前面はぬれた布でふくと水滴などがディスプレイパネル表面を伝って本体内部に入り、故障の原因となります。

ディスプレイは、ガラス製です。強い力や衝撃を加えないでください。



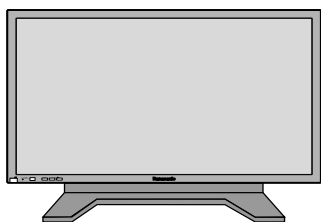
# 付属品の確認

付属品が入っていることをご確認ください。( )は個数です。



## 別売オプション

別売の設置オプションを使用してしっかり取り付けてください。(取付は専門の業者にご依頼ください。)



[例]

- 据え置きスタンド使用の場合  
: TY-ST05-K
- 壁寄せスタンド : TY-ST42PW1
- 移動式スタンド : TY-ST42PF3
- 壁掛け金具
  - 垂直取り付け型 : TY-WK42PV1
  - 角度可変型 : TY-WK42PR1
- PC 取り付け用壁掛け金具 : TY-WK42PRE1
- 天吊り金具 : TY-CE42PS1
- 引き出し式壁掛け金具 : TY-WK42DR1

- スピーカー : TY-SP42PWD3 (42V 型用)
- : TY-SP42P5-K (42V 型用)
- : TY-SP50PHD3 (50V 型用)
- : TY-SP50P5-K (50V 型用)

**お願い**

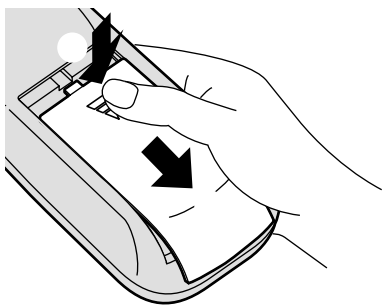
接続される場合は別売品に同梱の説明書をよくお読みのうえ、お間違いのないよう接続してください。


外部スピーカー端子は別売スピーカー以外のスピーカーでも接続できます。(インピーダンス 6 Ω、定格入力 8 W 以上のスピーカーをご利用ください。)

- 専用チューナー : TU-PH320
- 専用チューナー接続端子ボード  
: TY-42TM4H
- デジタル RGB 端子ボード  
: TY-42TM4D
- 後面端子カバー : TY-UPS200 (50V 型用)
- ケーブル (専用チューナー接続ケーブル [15m])  
: TY-SCP15C03

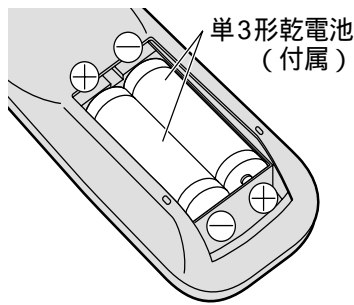
# リモコンの電池の入れかた

## 1 ふたをあける



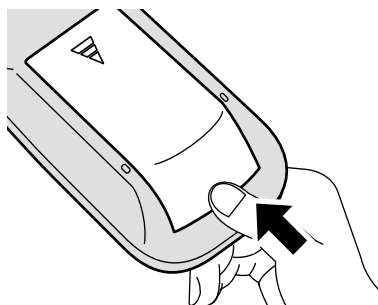
ふたの  マークが付いているところを少し強めに押さえ、  
の順にあける。

## 2 電池を入れる



極性表示に合わせて電池を入れる。(⊖側から先に入れます。)

## 3 ふたをしめる



ふたを元どおりにカチッと音がするまでしめる。

**お願い**

- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため  
種類の違うものや新・旧を混ぜたり、充電式 (Ni-Cd) ニッケルカドミウム 電池は使わないでください。  
電池は充電できません。
- 可燃ゴミに混ぜたり、燃やしたり、分解したりしないでください。

# 各部のはたらき

## リモコン

ディスプレイ本体の電源が「入」のとき、電源の「入」・「切」ができます。(16ページ)

入力モード・画面モードなどの各種設定状態の確認ができます。(18ページ)

臨場感のある音声で楽しむことができます。(19ページ)

映像や音声などの調整状態を標準値に戻すことができます。

メニュー画面で項目の選択を行います。

映像の調整・設定をするメニュー画面を表示します。(22～24ページ)

音声の調整・設定をするメニュー画面を表示します。(22・25ページ)

画面位置の移動や、画面サイズの変更をするメニュー画面を表示します。(22・26ページ)

パソコンの画面に切り換えることができます。(17ページ)

接続された機器に合わせて選択します。(16ページ)  
ビデオ(NTSC、PAL、SECAM、M・NTSC)と色差ビデオ・RGB・パソコンの切り換えができます。

音声を一時的に消すことができます。(19ページ)

音量調整をします。(16ページ)

映像、音声などの調整画面、各種機能の設定画面を一つ前の状態に戻します。

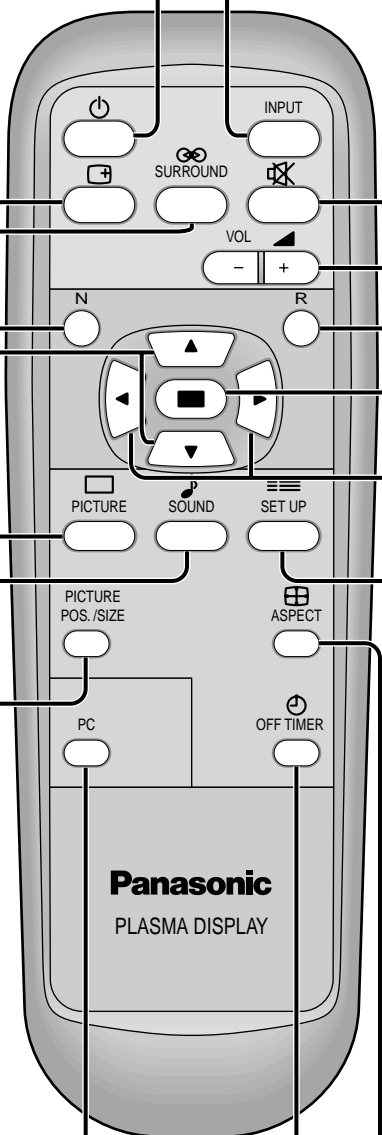
メニュー画面で項目の決定を行います。

メニュー画面で設定の切り換えやレベルの調整を行います。

各種機能の設定をするメニュー画面を表示します。(22・27～31ページ)

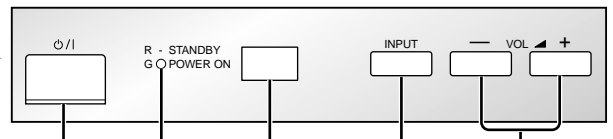
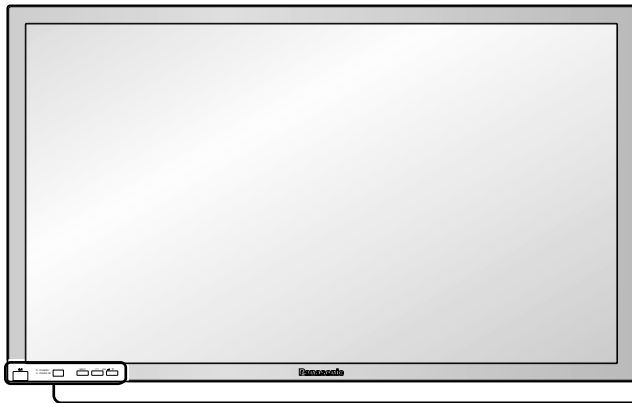
拡大画面を選択します。(20・21ページ)

自動的に電源を切ります。(18ページ)



# ディスプレイ本体

前面



電源を「入」「切」します

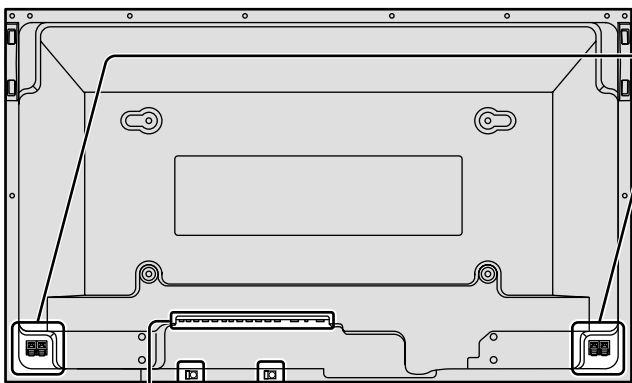
リモコン受光部

音量調整します

各接続端子に接続されたビデオやパソコン画面などを選びます

本機の電源ボタンが「入」のとき  
 リモコンで電源を切る(スタンバイ).....赤色点灯  
 リモコンで電源を入れる(電源オン).....緑色点灯  
 電源が「切」および電源表示が赤色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。

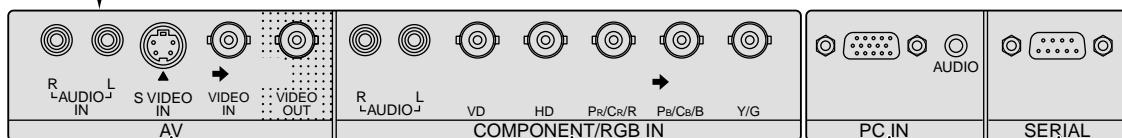
後面



右スピーカーを接続します(12ページ)

左スピーカーを接続します(12ページ)

バンド(付属)で接続ケーブルを固定します(12ページ)



ビデオデッキなどの映像機器を接続します(12ページ)

「Y,P<sub>B</sub>,P<sub>R</sub>」や「Y,C<sub>B</sub>,C<sub>R</sub>」出力のある機器やRGB出力のある機器を接続します(13ページ)

パソコンの映像出力や音声出力を接続します(14ページ)

パソコンに接続して本機を外部制御します(15ページ)

## 各接続端子について

AUDIO(R、L)入力端子	.....	RCAピンジャック
S VIDEO入力端子	.....	MIN4ピンDIN
VIDEO、VD、HD、P <sub>R</sub> /C <sub>R</sub> /R、P <sub>B</sub> /C <sub>B</sub> /B、Y/G入力端子、VIDEO出力端子	.....	BNC
PC入力端子	.....	ミニD-sub15ピン
PC AUDIO入力端子	.....	M3ジャック
SERIAL端子	.....	ミニD-sub9ピン

## お知らせ

S VIDEO (S2映像) 端子の機能について

S映像、S1映像にも対応します。(音声コードは同時に接続してください。)

(S映像.....良い画像を得るため映像信号を輝度信号と色信号とに分解したもの。)

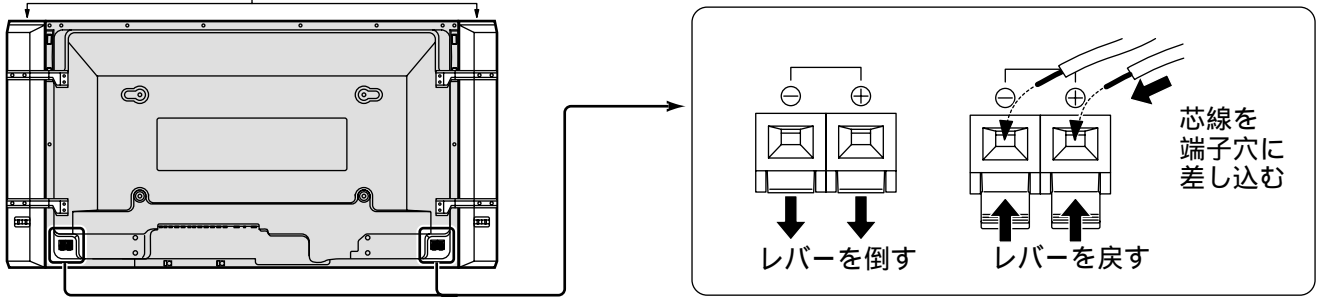
(S1映像...S映像の機能に加え、ワイドテレビ対応ビデオからのフル画像は「フル」画面になります。)

(S2映像...S映像とS1映像機能に加え、S2映像の場合は「ワイド」画面になります。)

# 接続

## ■ スピーカー端子の接続

専用スピーカー：TY-SP42PWD3（42V型用） TY-SP50PHD3（50V型用）  
 本体後面 （別売）：TY-SP42P5-K（42V型用） TY-SP50P5-K（50V型用）

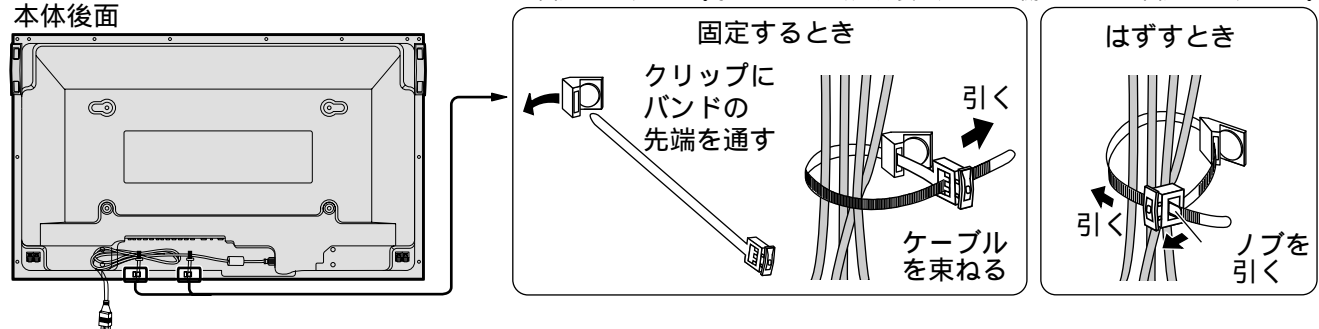


**お知らせ** 外部スピーカー端子には、別売スピーカー以外のスピーカーでも接続可能です。（インピーダンス6Ω、定格入力8W以上のスピーカーをご利用ください。）

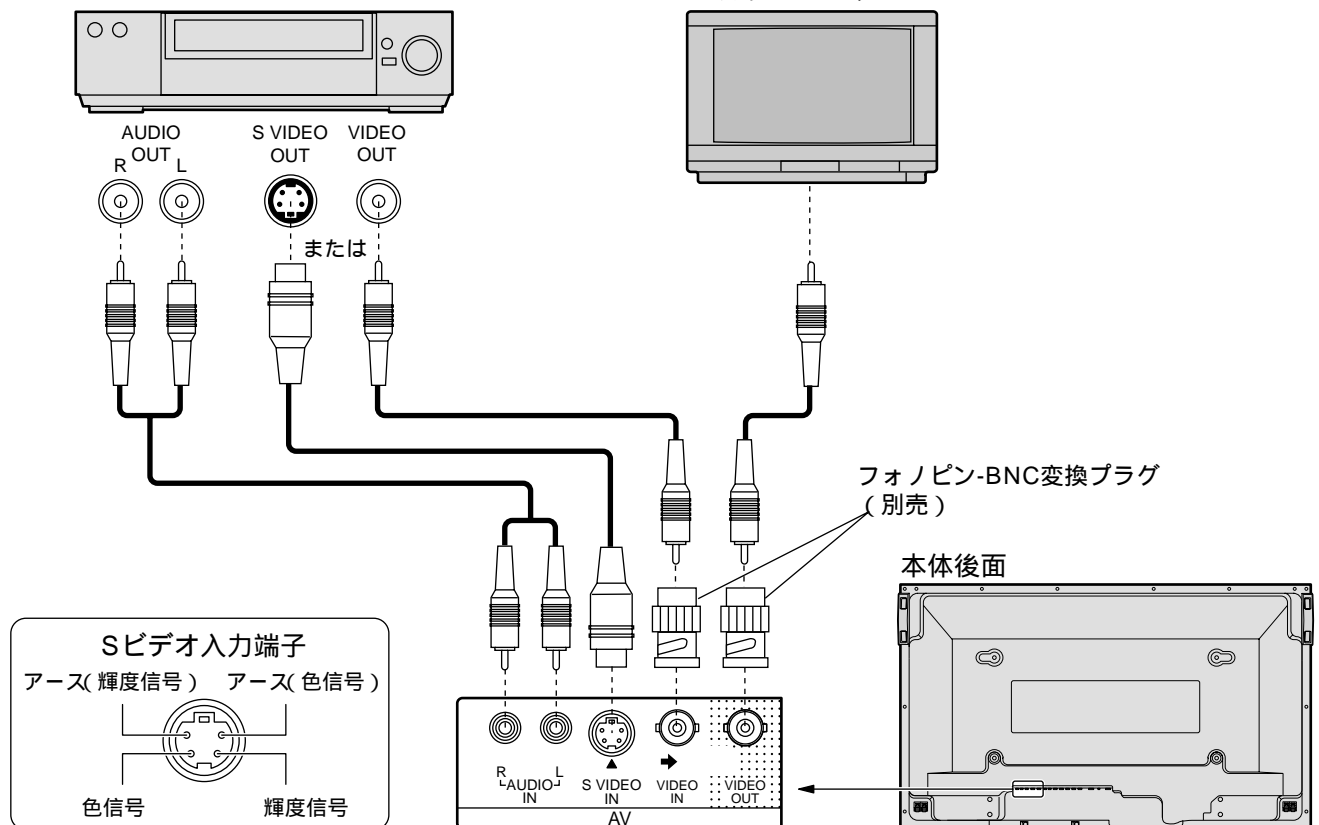
**お願い** ⊕と⊖をショートさせないでください。

## ■ 電源コード・接続ケーブルの固定

電源コードを少したるませコードに張力がかからないように右側のバンドでしっかり固定してください。余ったコード類は必要に応じて左側のバンドで固定してください。



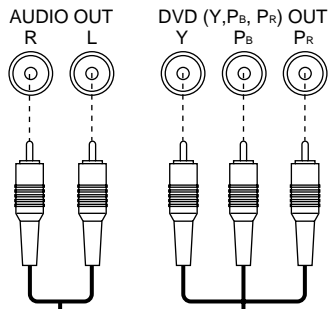
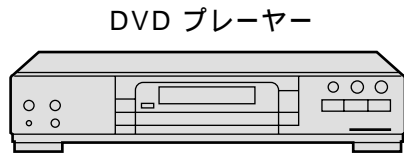
## ■ ビデオ入出力（AV）端子の接続例



**お知らせ** Sビデオまたはビデオ信号の音声入力（AUDIO IN R-L）端子は1系統しかありませんので、使用される信号に合わせ差し換えが必要になります。ブラウン管の走査を利用した電子銃による光線銃等のゲーム機器はプラズマディスプレイの構造上、使用できません。

## ■ コンポーネント / RGB 入力 ( COMPONENT / RGB IN ) 端子の接続例

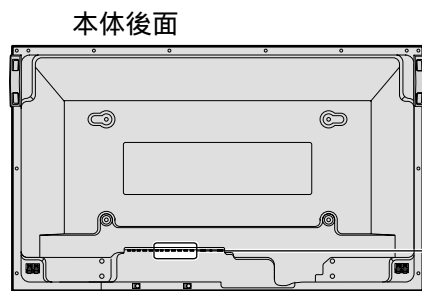
コンポーネント ( COMPONENT ) 端子の接続



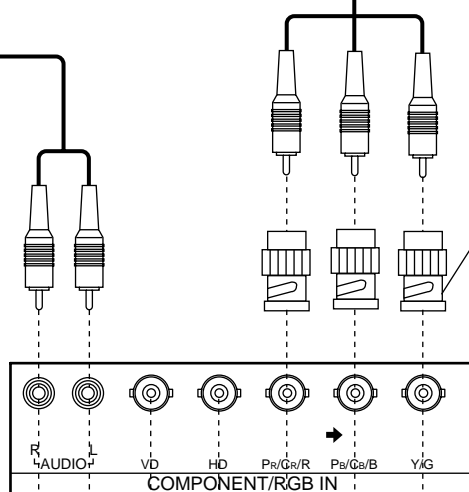
本機で対応するコンポーネント信号一覧表

525i ( 480i )	1125 ( 1080 ) / 60i
625i ( 575i )	1125 ( 1080 ) / 50i
525p ( 480p )	1125 ( 1080 ) / 24p
625p ( 575p )	1125 ( 1080 ) / 24SF
750 ( 720 ) / 60p	

SMPTE274M規格

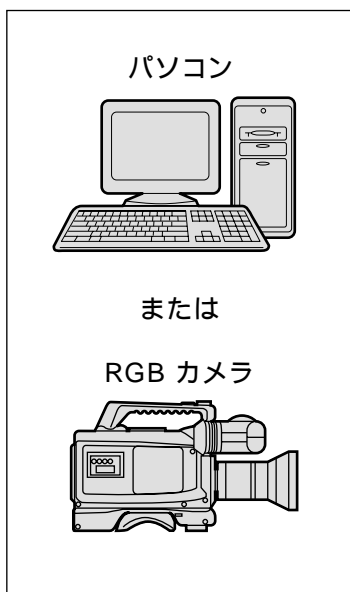


赤色 ( P<sub>R</sub> 端子に接続 )  
青色 ( P<sub>B</sub> 端子に接続 )  
緑色 ( Y 端子に接続 )



フォノピン-BNC  
変換プラグ ( 別売 )

RGB 端子の接続



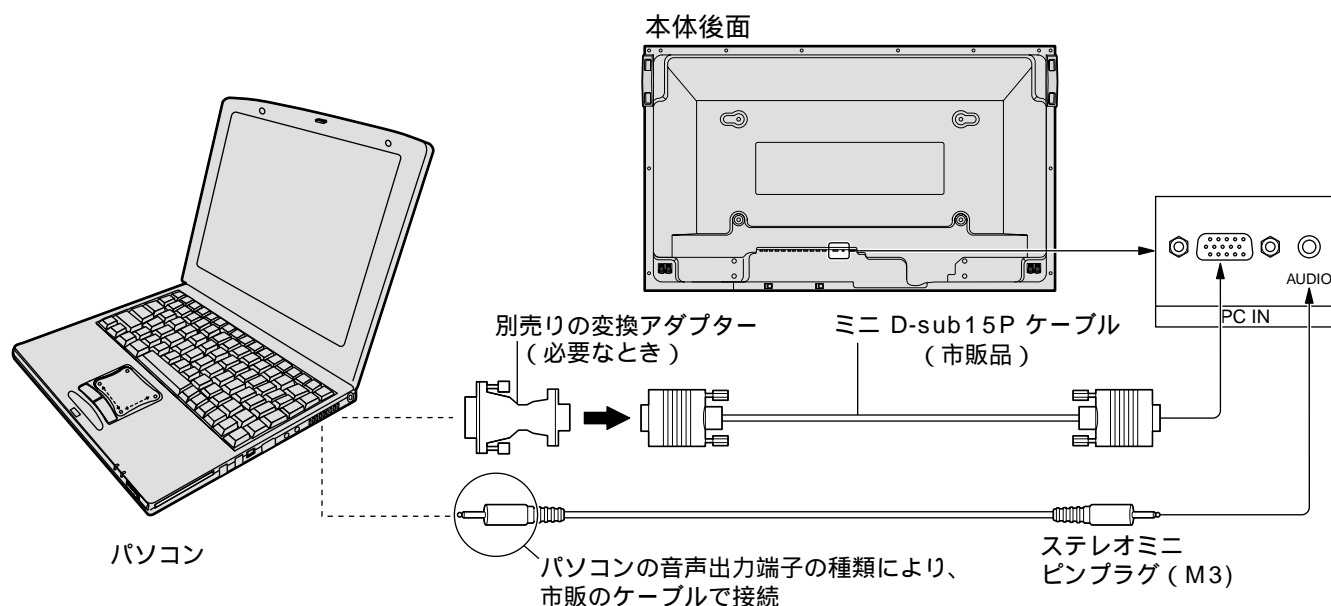
お願い

コンポーネント / RGB 入力 ( COMPONENT / RGB IN ) 端子に接続された入力信号に合わせてコンポーネント入力切り換え [ COMPONENT / RGB-IN SELECT ] で選択してください。( 27 ページ )

準

備

■ パソコン入力 (PC IN) 端子の接続例



接続できるパソコン信号の種類

本機は、下の表に記載の代表的な 18 種類のパソコン信号について、あらかじめ調整値を記憶しています。表に記載されていないパソコン信号は、最大 8 種類まで記憶します。

(対応周波数は水平 : 15.5 kHz ~ 110 kHz、垂直 : 48 Hz ~ 120 Hz です。)

本体に記憶済みのパソコン信号一覧表

640 × 400 : 70 Hz	800 × 600 : 85 Hz	1280 × 1024 : 75 Hz
640 × 480 : 60 Hz	1024 × 768 : 60 Hz	1280 × 1024 : 85 Hz
640 × 480 : 75 Hz	1024 × 768 : 70 Hz	1600 × 1200 : 60 Hz
852 × 480 : 60 Hz	1024 × 768 : 75 Hz	640 × 480 : 67 Hz (Mac13")
800 × 600 : 60 Hz	1024 × 768 : 85 Hz	832 × 624 : 75 Hz (Mac16")
800 × 600 : 75 Hz	1280 × 1024 : 60 Hz	1152 × 870 : 75 Hz (Mac21")

解像度は 42V 型「フル」で最大 1024 × 768 ドット、50V 型「フル」で最大 1366 × 768 ドットの表示が可能です。(XGA 対応) 垂直解像度が 768 ドットを超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。

**お願い** ディスプレイのプラグ・アンド・プレイ (DDC1 / 2B) に対応していないパソコンは接続時の設定が必要です。

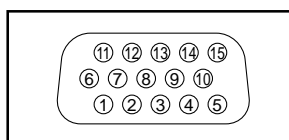
**お知らせ** パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。PC-98 シリーズ (D-sub15P 端子の機種) や Macintosh のパソコンを接続する場合、変換アダプターが必要です。(別売)

パソコンのミニ D-sub15P 端子が、DOS/V に対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。

PC-98 (D-sub15P 端子の機種) 用 ..... TY-ADN98

Macintosh 用 ..... TY-ADMACU

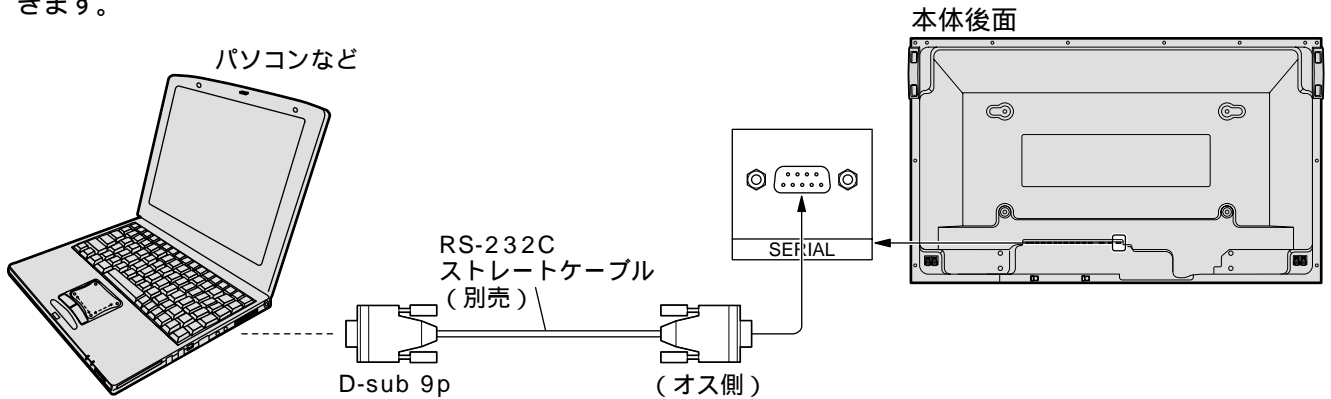
パソコン入力端子 (ミニ D-sub15P) のピン配列と信号名



ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
①	R	⑥	GND (アース)	⑪	GND (アース)
②	G	⑦	GND (アース)	⑫	SDA
③	B	⑧	GND (アース)	⑬	HD / SYNC
④	GND (アース)	⑨	NC (無接続)	⑭	VD
⑤	GND (アース)	⑩	GND (アース)	⑮	SCL

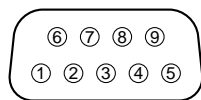
## ■ シリアル ( SERIAL ) 端子の接続例

シリアル ( SERIAL ) 端子はRS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本体をパソコンで制御することができます。



**お願い** シリアル ( SERIAL ) 端子とパソコンをつなぐ通信ケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

### ピン配列と信号名



RS-232C ストレートケーブル

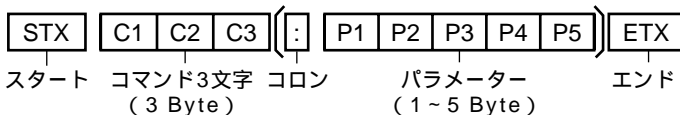
ピンNo.	信号名	内容
①	CD	NC
②	RXD	受信データ
③	TXD	送信データ
④	DTR	未使用
⑤	GND	グランド
⑥	DSR	未使用
⑦	RTS	] 短絡
⑧	CTS	
⑨	RI	NC

### 通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期 (非同期)
ボーレート	9600bps
パリティ	なし
キャラクター長	8ビット
ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

### 基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



**お願い** 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロ ( : ) は必要ありません。

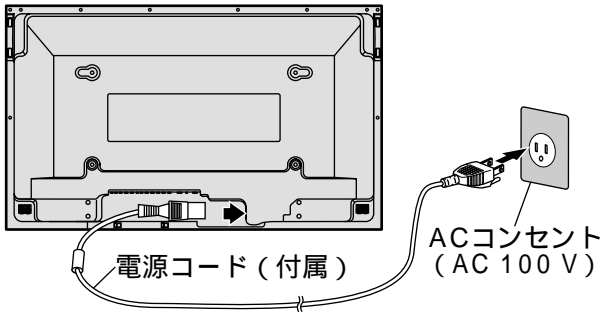
**お知らせ** 間違ったコマンドを送信すると、本機から “ ER401 ” というコマンドがパソコン側に送信されます。電源「切」中は “ PON ” コマンド以外の応答はありません。

### コマンド一覧

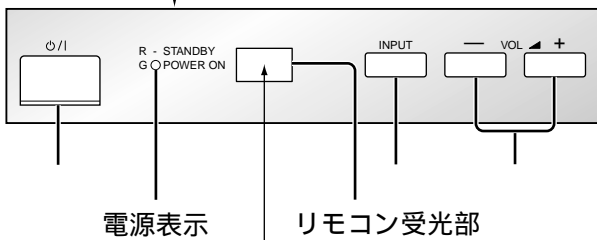
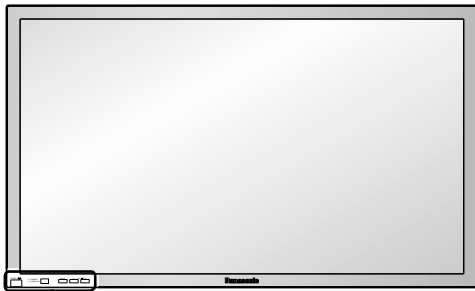
コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	**	音量 00 ~ 63
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン
IIS	なし	入力切換 (トグル)
	VID	ビデオ入力
	YP1	コンポーネント (色差) ビデオ/RGB入力 (本体の初期設定で選んだ Y, Pb, Pr または RGB)
	RG1	パソコン入力
DAM	なし	画面モード切換 (トグル)
	NORM	ノーマル [ NORMAL ] ( 4 : 3 )
	ZOOM	ズーム [ ZOOM ]
	FULL	フル [ FULL ]
	JUST	ジャスト [ JUST ]
	SELF	セルフワイド [ Panasonic AUTO ]

# 基本の操作

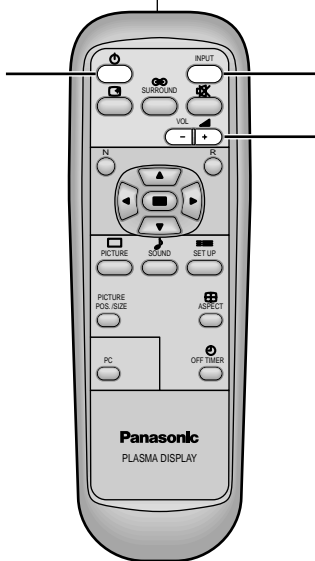
本体後面



本体前面



リモコン有効操作距離  
正面で約7 m 以内



## 準備

電源コードを本体に接続した後、コンセントへ接続する。(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)  
2 芯専用のACコンセントの場合、アース工事を行ない、3P-2P AC変換器(市販品)をご使用ください。

## ■ 電源を入れる

本体の電源(POWER)スイッチを押し電源を「入」にする。

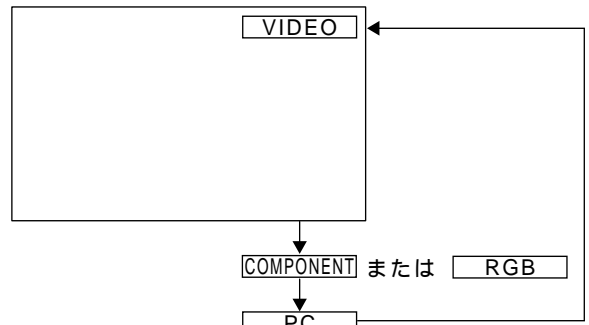
電源表示が緑色に点灯します。

**お知らせ** 初めて電源を「入」にすると言語表示の選択画面が表示されます。ご利用の言語を選択してください。(30 ページ)  
本体の電源が「入」のとき、リモコンで操作ができます。

## ■ 入力を切り換える

入力切り換え(INPUT)ボタンを押して本機に接続された入力信号を選択する。

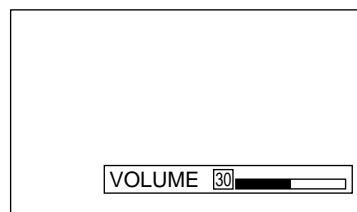
押すごとに切り換わります。



Sビデオ入力の場合は「S VIDEO」の表示をします。「色差ビデオ(COMPONENT)」「RGB」の切り換えは、接続した機器に合わせて初期設定(SET UP)の「コンポーネント入力切り換え[COMPONENT/RGB-IN SELECT]」で設定します。(27 ページ)  
ビデオ入力は「NTSC」「PAL」「SECAM」などのカラーシステム方式の切り換えができます。(27 ページ)

## ■ スピーカー(別売)の音量を調整する。

音量(-VOL ▲+)ボタンを押して音量を調整する



接続はスピーカーの取扱説明書をご参照ください。

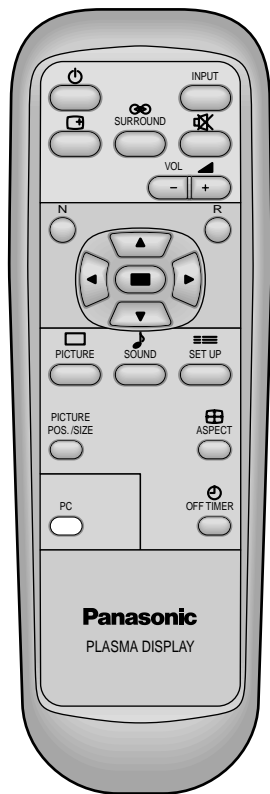
電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。

**お知らせ**



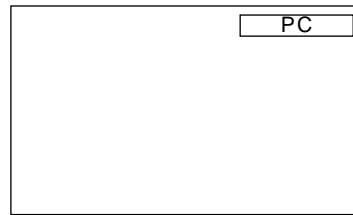
# パソコン画面に切り換える (PC)

パソコン入力 (PC IN) 端子に接続されたパソコンの画面に切り換えることができます。



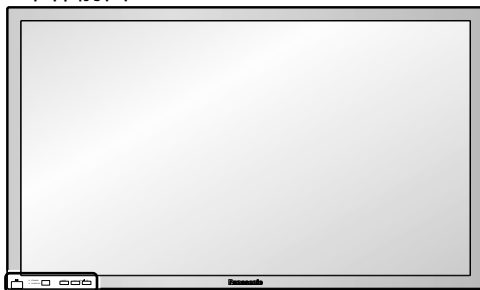
**PC** を押します。

「PC」画面になります。

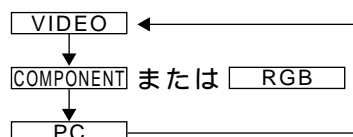


**お知らせ** 静止画像を長時間映しているとプラズマディスプレイパネルに映像の焼き付き (残像現象) が発生する場合があります。このような現象を軽減するため、スクリーンセーバー機能をご利用いただくことをおすすめします。(28・29ページ) 本体の入力切り換え (INPUT) ボタンを押してもPC画面に切り換えることができます。

本体前面



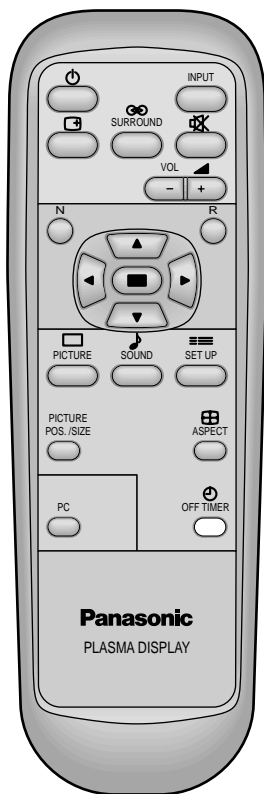
リモコンが使えないときなどに「PC」画面にする




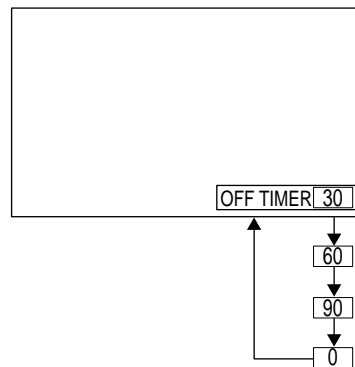
使  
い  
か  
た

# オフタイマー（OFF TIMER）機能を使う


タイマー設定（30分、60分、90分）で自動的に電源を切ることができます。



 を押すごとにタイマー設定時間が選択できます。



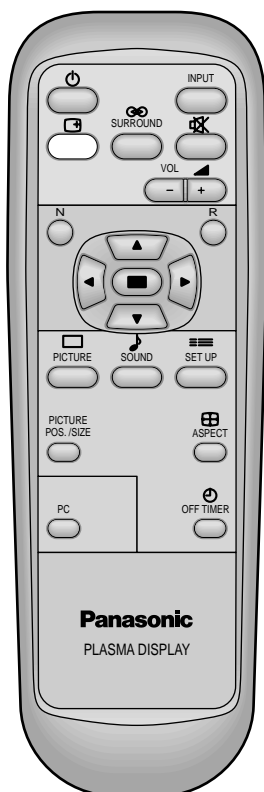
「0」はオフタイマーが解除されます。  
タイマーが切れる3分前になると3、2、1が点滅表示した後、電源が切れます。


**お知らせ** オフタイマー残り時間を知りたいときは  を押します。

オフタイマー動作中に停電などで電源が切れると、オフタイマーは解除されます。

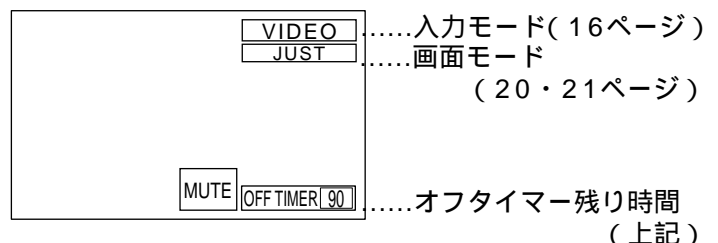
# 入力モードなどを知りたいとき

入力モード・画面モードなどの各種設定状態の確認ができます。



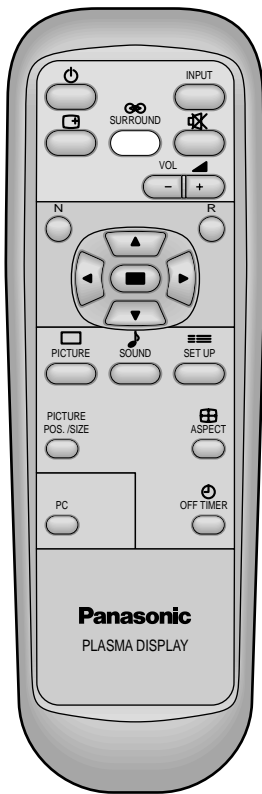
 を押すと現在の入力モード、画面モード、オフタイマー残り時間、音声ミュートの状態を表示します。

選択している入力モードに映像信号が入力されていない場合は、最後に「NO SIGNAL」の表示が出て、約30秒で消えます。



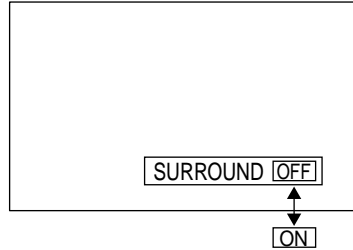
# サラウンド (SURROUND) 機能を使う

臨場感のある音声で楽しむことができます。



を押します。

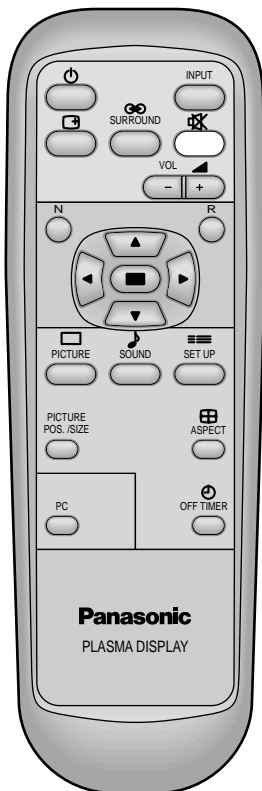
押すごとに「OFF」「ON」となります。



**お知らせ** 「音声の調整 (SOUND)」メニューの「サラウンド [SURROUND]」でも「OFF」、「ON」の設定ができます。(25ページ)

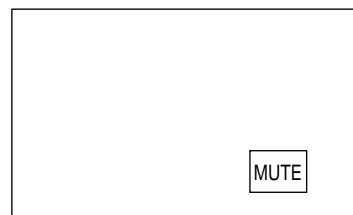
# 音声ミュート (MUTE) 機能を使う

一時的に音声を消したいとき、来客や電話などの対応のとき便利です。



を押します。

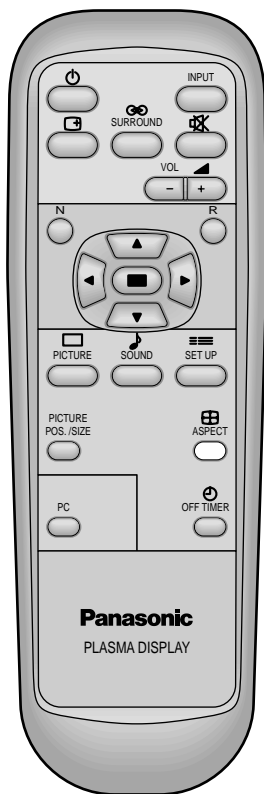
画面上に「MUTE」の表示が出て音が消えます。  
再度押すと解除されます。




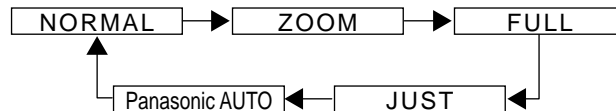
**お知らせ** 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除されます。  
音声ミュート設定中は、各機能やメニューの操作後に「MUTE」の表示が出てお知らせします。

使  
い  
か  
た

# 拡大画面で見る (ASPECT)



 を押しごとに切り換わります。



**お知らせ** RGB 信号またはパソコン信号のときは「ノーマル (NORMAL)」、「ズーム (ZOOM)」、「フル (FULL)」の切り換えになります。

1125i (1180i) 750p (720p) 信号のときは「フル (FULL)」になり、切り換えができません。

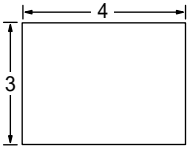
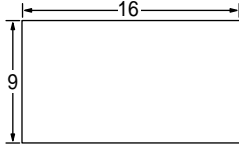
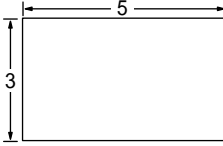
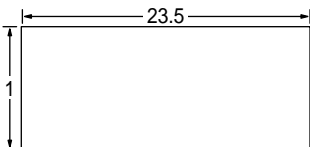
525i (480i) 625i (575i) 525p (480p) 625p (575p) 信号のときは「セルフワイド (Panasonic AUTO)」には切り換わりません。

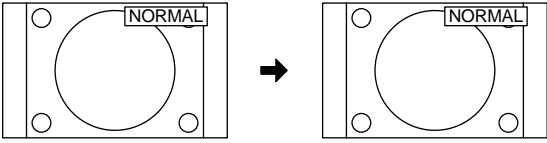
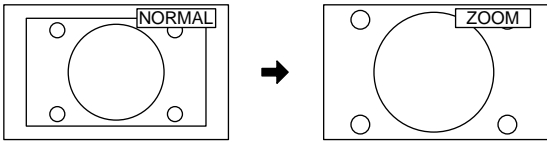
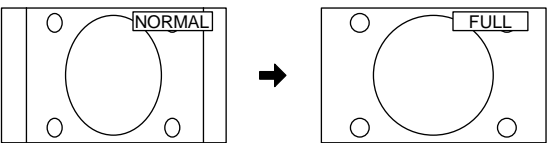
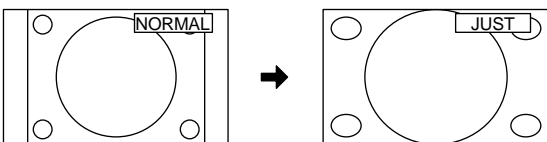
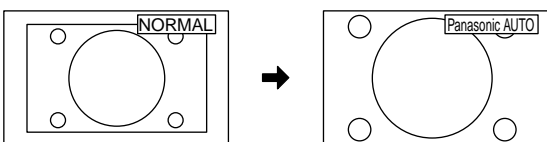
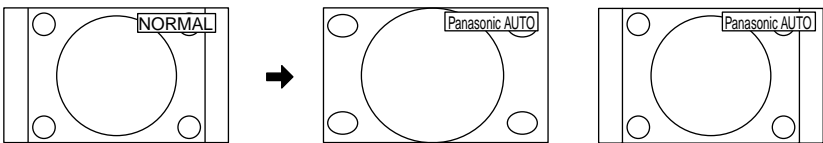
画面モードはビデオ入力、色差ビデオ入力、RGB入力、パソコン入力ごとに記憶します。

接続端子「S2映像」からS1またはS2映像を入力するとS1映像は「フル (FULL)」、S2映像は「ワイド (WIDE)」になります。

## 映像の横縦比 (アスペクト)

放送や映像ソフトにより画面の横と縦の比が異なります。

放送・映像ソフト	横縦比
VHF、UHF 放送 一部の BS デジタル放送	
BS デジタルハイビジョン放送 ワイドクリアビジョン放送 ピスタビジョンサイズ ソフト 一部の BS デジタル放送	
ピスタビジョンサイズ ソフト	
シネマビジョンサイズ	

<p>ノーマル [ NORMAL ]</p>	 <p>普通の映像 ( 4:3 ) のとき</p>	<p>そのままの映像 ( 普通の映像 4:3 ) です。</p>
<p>ズーム [ ZOOM ]</p>	 <p>横に長い映像のとき</p>	<p>画面いっぱいに映像を拡大します。</p>
<p>フル [ FULL ]</p>	 <p>縦に長い映像のとき</p>	<p>横に広がり正常な映像になります。</p>
<p>ジャスト [ JUST ]</p>	 <p>普通の映像 ( 4:3 ) のとき</p>	<p>横に広がり違和感の少ない映像になります。</p>
<p>セルフワイド [ Panasonic AUTO ]</p> <p>自動的に画面が 拡大されます</p>	 <p>横に長い映像のとき</p>  <p>普通の映像 ( 4:3 ) のとき</p> <p>「JUST」画面      「NORMAL」画面</p>	<p>拡大画面になります</p> <p>初期設定のセルフワイド設定 ( 28 ページ ) で設定した「JUST」 または「NORMAL」の画面</p>

使  
い  
か  
た

**お知らせ**

このディスプレイは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。

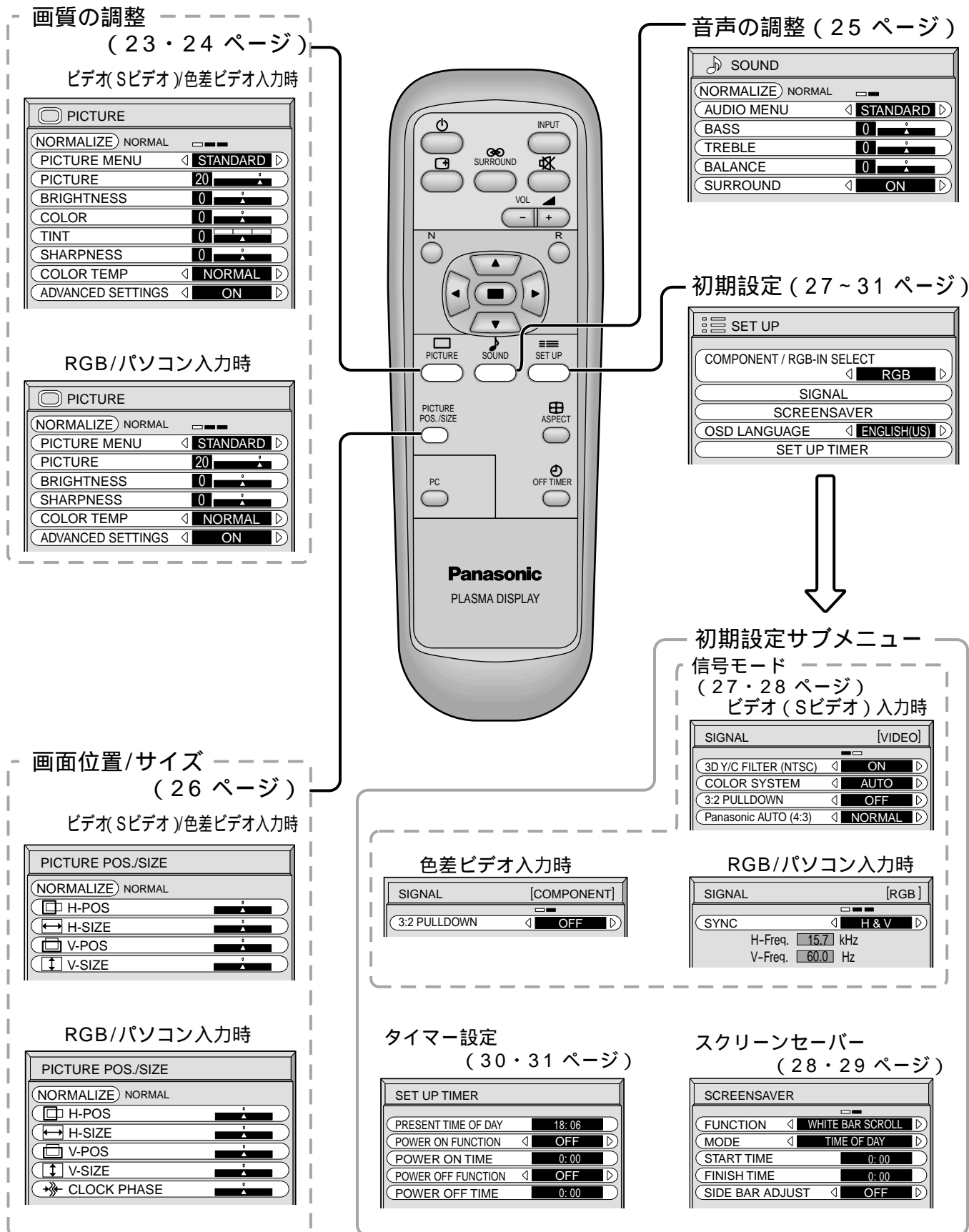
ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切り換え機能 (ズーム等) を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

ワイド映像でない従来 (通常) の 4:3 の映像をズーム (ZOOM) ・ジャスト (JUST) ・フル (FULL) モードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマル (NORMAL) モードでご覧になれます。


# オンスクリーンメニューについて



## ■ メニュー画面一覧



本機では各種設定や調整および変更はメニュー操作によって行います。  
本機のメニュー構成は下図のとおりです。







# 画質の調整 (PICTURE)

 を押してメニュー画面を出します。

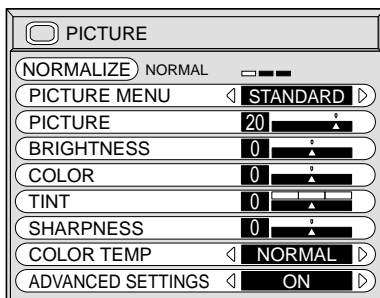
 か  を押して項目を選択します。

 か  を押して設定を切り換えます。

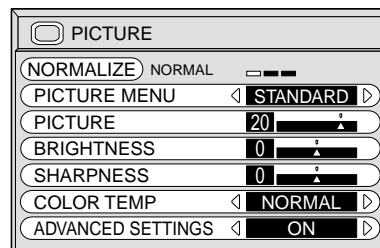
バースケールの項目は  か  を押して個別調整画面を表示させ調整します。

設定または調整が終わると  か  を押します。

ビデオ (Sビデオ) / 色差ビデオ入力時

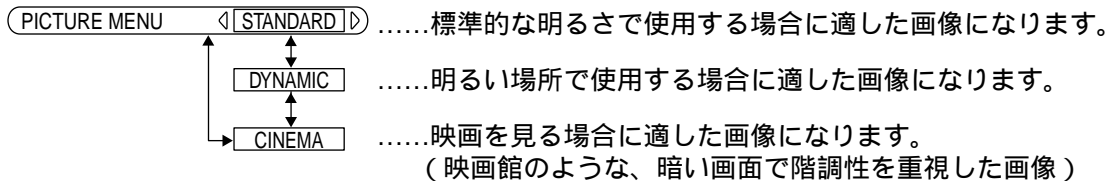


RGB / パソコン入力時



## ■ 映像メニュー [ PICTURE MENU ]


映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えることができます。



**お知らせ** 「映像メニュー [ PICTURE MENU ]」はビデオ入力、色差ビデオ入力、RGB入力、パソコン入力ごとに記憶します。

## ■ ピクチャー [ PICTURE ]

映像の明暗度を調整します。


 を押すと：画面が明るく映像が濃くなります。


 を押すと：画面が暗く映像が薄くなります。

**お知らせ** 「ピクチャー [ PICTURE ]」は明るい映像のとき、より明るく、また暗い映像のとき、より暗く調整してもわずかしき変化しません。


## ■ 黒レベル [ BRIGHTNESS ]


画面の暗い部分 ( 黒色 ) を調整します。

 を押すと：画面が明るくなります。

 を押すと：画面が暗くなります。

## ■ 色の濃さ [ COLOR ] ( RGB / パソコン入力は調整できません )

 を押すと：色が濃くなります。

 を押すと：色が薄くなります。

使  
い  
か  
た

## 画質の調整 ( PICTURE )

- 色あい [ TINT ] (ビデオ入力は NTSC 信号時のみ調整できます。RGB/ パソコン入力は調整できません。) 肌色の部分を調整します。

▶ を押すと：色あいが変化し、肌色が緑色がかった色になります。  
 ◀ を押すと：色あいが変化し、肌色が赤紫色がかった色になります。

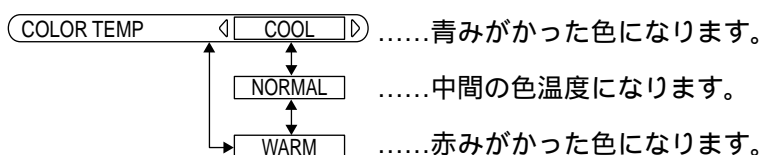
- シャープネス [ SHARPNESS ]

映像の画質を調整します。

▶ を押すと：画質がシャープになります。  
 ◀ を押すと：画質がソフトになります。

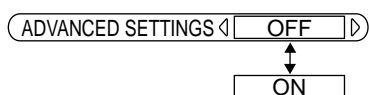
- 色温度 [ COLOR TEMP ]

画面の色調を切り換えることができます。



- テクニカル [ ADVANCED SETTINGS ]

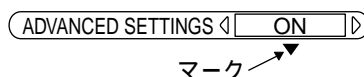
お好みにより、さらにきめ細かな調整を行うことができます。



.....テクニカル調整された映像になります。

テクニカル調整

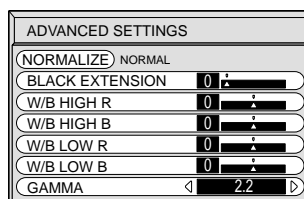
「テクニカル ( ADVANCED SETTINGS )」  
 を「ON」にする。  
 マークが表示されます。



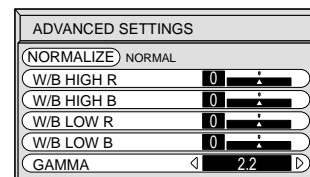
▶ を押す。  
 テクニカル調整メニューが表示されます。  
 ◀ か ▶ を押して調整したい項目を  
 選択する。

◀ か ▶ を押して調整する。

ビデオ ( Sビデオ ) / 色差ビデオ入力時



RGB/ パソコン入力時



項目	調整範囲	内容
黒伸長 [ BLACK EXTENSION ]	0 (補正なし) ~ 8 (補正強)	中間より暗い部分の階調の変化を調整します (RGB/ パソコン入力は調整できません)
Rドライブ [ W/B HIGH R ]	-30 (色温度高) ~ 30 (色温度低)	赤色の明るい部分の色温度を調整します
Bドライブ [ W/B HIGH B ]	-30 (色温度低) ~ 30 (色温度高)	青色の明るい部分の色温度を調整します
Rカットオフ [ W/B LOW R ]	-30 (色温度高) ~ 30 (色温度低)	赤色の暗い部分の色温度を調整します
Bカットオフ [ W/B LOW B ]	-30 (色温度低) ~ 30 (色温度高)	青色の暗い部分の色温度を調整します
ガンマ [ GAMMA ]	2.0 2.2 2.5	通常は「2.2」でご使用ください


- 標準に戻す [ NORMALIZE ]

◻ を押すことにより、表示されているメニューの調整値が工場出荷時の標準値に戻ります。



**お知らせ** リモコンの を押すことでも表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。





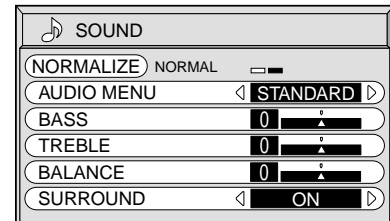
# 音声の調整 (SOUND)

 を押してメニュー画面を出します。

 か  を押して項目を選択します。

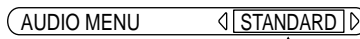
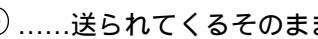
 か  を押して設定を切り換えます。




設定または調整が終わると  か  を押します。



## ■ 音声メニュー [ AUDIO MENU ]


最適な音質を選びます。


  .....送られてくるそのままの音で聞く。

   .....聞きとりにくい小さな音や急な大きな音も聞きやすい音量に自動調整します。

## ■ バス [ BASS ]


低音を調整します。


 を押すと：低音が大きくなります。

 を押すと：低音が小さくなります。

## ■ トレブル [ TREBLE ]

高音を調整します。


 を押すと：高音が大きくなります。

 を押すと：高音が小さくなります。

## ■ バランス [ BALANCE ]



左右の音量調整をします。


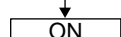
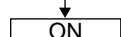
 を押すと：左側の音量が小さくなります。

 を押すと：右側の音量が小さくなります。

## ■ サラウンド [ SURROUND ]

臨場感のある音声で聞くことができます。


  .....通常の音声で聞く。


   .....臨場感のある音声で聞く。

**お知らせ** リモコンの  でも「ON」、「OFF」の設定ができます。(19 ページ)

バス、トレブル、サラウンドの設定は音声メニュー[ AUDIO MENU ]の「STANDARD」、「AUTO」ごとに記憶します。

## ■ 標準に戻す [ NORMALIZE ]

 を押すことにより、表示されているメニューの調整値が工場出荷時の標準値に戻ります。

**お知らせ** リモコンの  を押すことでも表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

使  
い  
か  
た

# 画面位置 / サイズの調整 (PICTURE POS./SIZE)

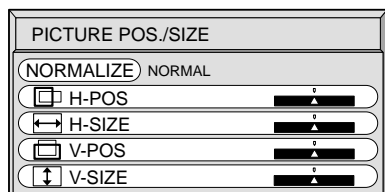
PICTURE POS./SIZE を押してメニュー画面を出します。

▲ か ▼ を押して項目を選択します。

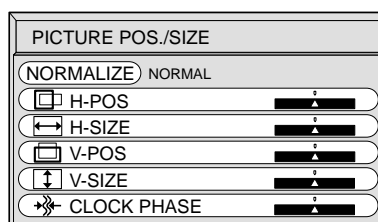
◀ か ▶ を押して個別調整画面を表示させ調整します。

調整が終わると <sup>R</sup> を押すか PICTURE POS./SIZE を押します。

ビデオ (Sビデオ) / 色差ビデオ入力時

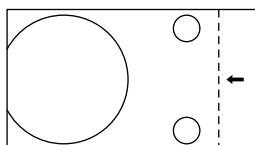


RGB / パソコン入力時

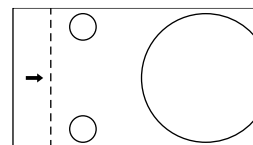


## ■ 水平位置 [ H-POS ]

◀ を押すと：画面が左に移動します。

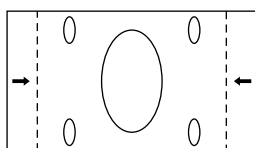


▶ を押すと：画面が右に移動します。

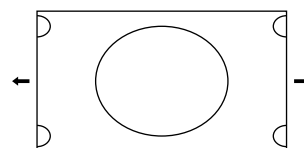


## ■ 水平サイズ [ H-SIZE ]

◀ を押すと：画面が左右に狭まります。

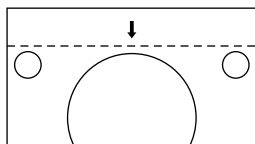


▶ を押すと：画面が左右に広がります。

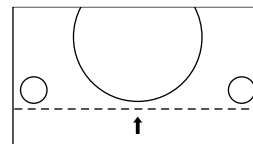


## ■ 垂直位置 [ V-POS ]

◀ を押すと：画面が下へ移動します。

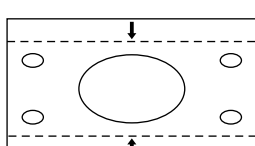


▶ を押すと：画面が上へ移動します。

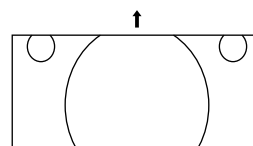


## ■ 垂直サイズ [ V-SIZE ]

◀ を押すと：画面が上下に狭まります。



▶ を押すと：画面が上下に広がります。



## ■ クロック位相 [ CLOCK PHASE ] (ビデオ (Sビデオ) / 色差ビデオ入力は調整できません) RGB 信号やパソコン信号を入力した場合に、画面の輪郭ににじみやぼけが発生することがあります。


◀ や ▶ を押してもっとも見やすくなるよう調整してください。



## ■ 標準に戻す [ NORMALIZE ]



■ を押すことにより、表示されているメニューの調整値が工場出荷時の標準値に戻ります。



**お知らせ** リモコンの <sup>N</sup> を押すことでも表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

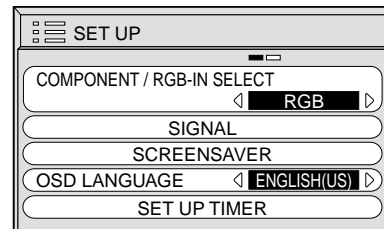
# 各機能の初期設定 (SET UP)

 を押してメニュー画面を出します。

 か  を押して項目を選択します。

 か  を押して設定を切り換えます。

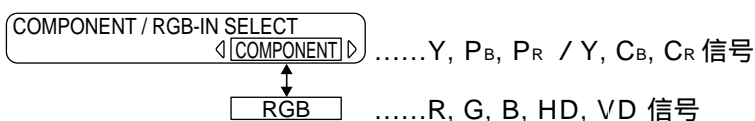
設定または調整が終わると  か  を押します。



「信号モード [ SIGNAL ]」, 「スクリーンセ - バ - [ SCREENSAVER ]」, 「マルチ画面設定 [ MULTI DISPLAY SETUP ]」, 「タイマー設定 [ SET UP TIMER ]」はサブメニューを表示させてから設定を行います。

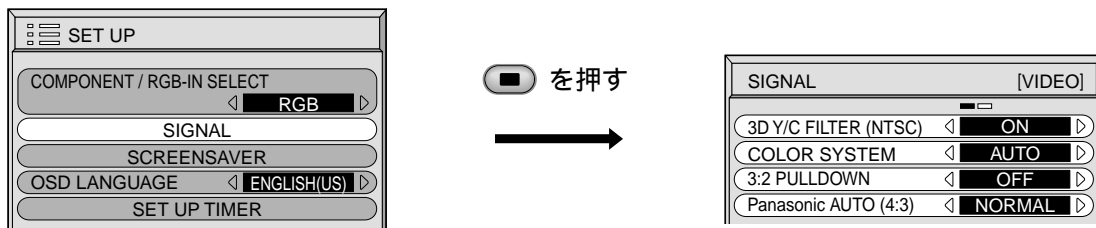
## ■ コンポーネント入力切り換え [ COMPONENT/RGB-IN SELECT ]

本機のコンポーネント / RGB 入力 ( COMPONENT / RGB IN ) 端子に接続された信号に合わせて設定します。

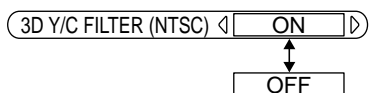


## ■ 信号モード [ SIGNAL ]

ビデオ ( S ビデオ ) 信号入力時

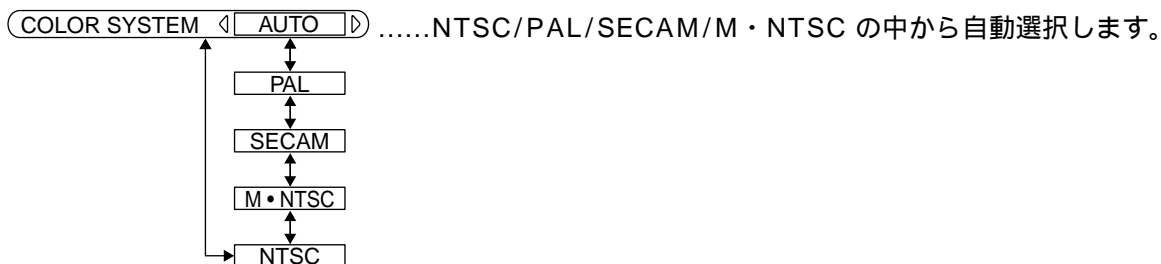


3 次元 Y/C [ 3D Y/C FILTER (NTSC) ] ( ビデオ入力の NTSC 信号時に有効です )  
動いている映像が不自然に見えるときに設定します。通常は「ON」でご覧ください。



### カラーシステム [ COLOR SYSTEM ]

信号方式が合わず正常な映像にならない場合に方式選択します。



通常は「AUTO」に設定します。入力された信号の方式を自動的に判別します。

入力信号が劣化してノイズが多い、または信号レベルが低いときに「AUTO」に設定すると正常に表示しない場合があります。そのときは入力信号の方式に合わせて設定してください。

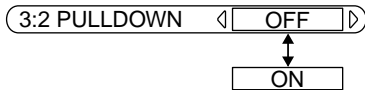
信号方式	水平走査周波数 ( kHz )	垂直走査周波数 ( Hz )	色副搬送波 ( MHz )
NTSC	15.75	60.00	3.58
PAL	15.63	50.00	4.43
SECAM	15.63	50.00	4.25 または 4.41
M・NTSC	15.75	60.00	4.43

必要  
な  
と  
き

## 各機能の初期設定 (SET UP)

3 : 2 プルダウン [ 3 : 2 PULLDOWN ] ( NTSC 信号時に有効です )

映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生します。ふだんは「OFF」でご覧下さい。



### お知らせ

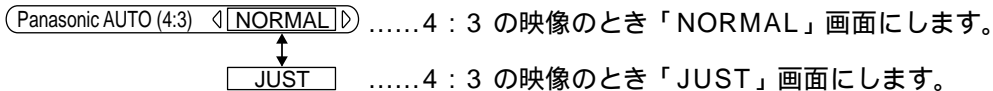
[ 3 : 2 PULLDOWN ] を「ON」にすると、映画など、毎秒 24 コマで撮影された動きのある映像がより自然な再生映像でご覧になれます。

再生映像を「ON」でご覧になると、不自然な映像になる場合があります。

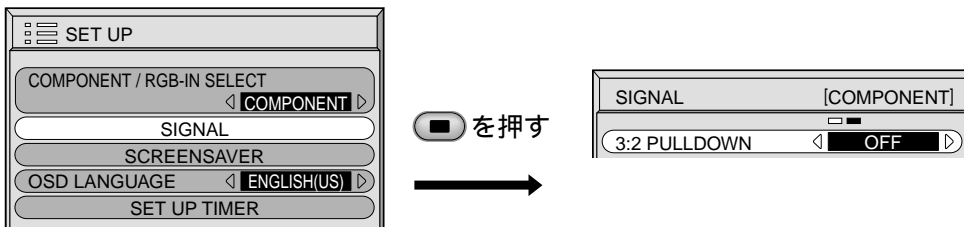
この場合は「OFF」でご覧ください。

セルフワイド設定 [ Panasonic AUTO ( 4 : 3 ) ]

4 : 3 の映像をそのままの画面サイズで見るときに設定します。



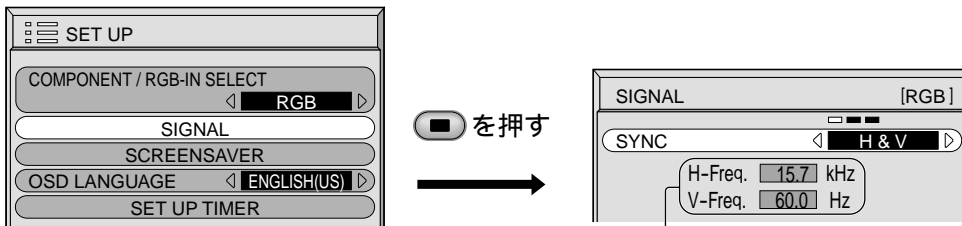
色差ビデオ信号入力時



3:2 プルダウン [ 3:2 PULLDOWN ] ( 525i ( 480i ) 信号時に有効です )

上記をご参照ください。

RGB / パソコン信号入力時



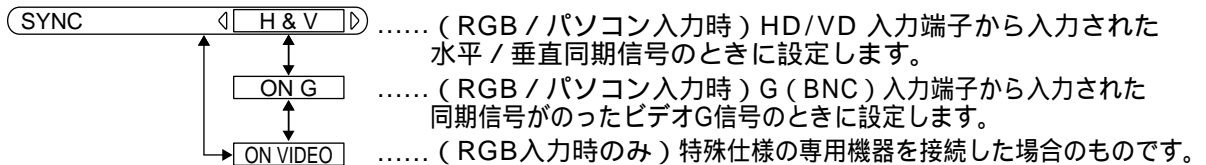
現在入力している信号の周波数を表示します。

表示範囲：水平走査周波数 ( H-Freq. 15.5 ~ 110 kHz )

垂直走査周波数 ( V-Freq. 48 ~ 120 Hz )

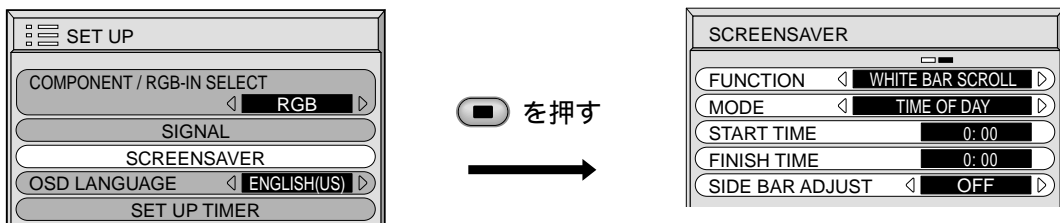
同期信号の入力切替 [ SYNC ]

RGB / パソコン入力端子に接続された映像信号が “ SYNC ON G ” の場合に「ON G」に設定します。

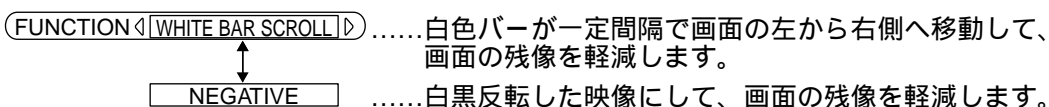


## ■ スクリーンセーバー [ SCREENSAVER ]

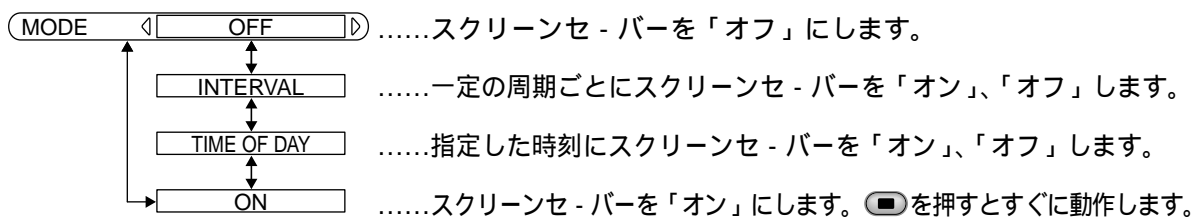
静止画や 4 : 3 表示画像を長時間映しているとプラズマディスプレイパネルに映像の焼き付き ( 残像現象 ) を起こす場合があります。映像の焼き付き防止にスクリーンセーバーを設定します。



機能選択 [ FUNCTION ]

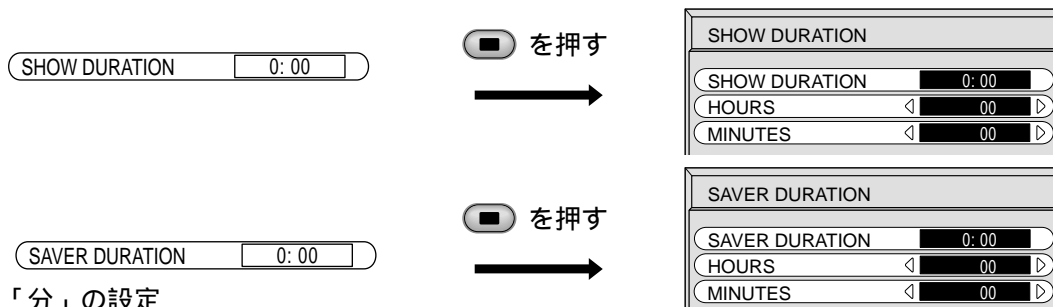


## 動作選択 [ MODE ]



**お知らせ** スクリーンセーバー動作中に (R) を押すとスクリーンセーバーが解除されます。

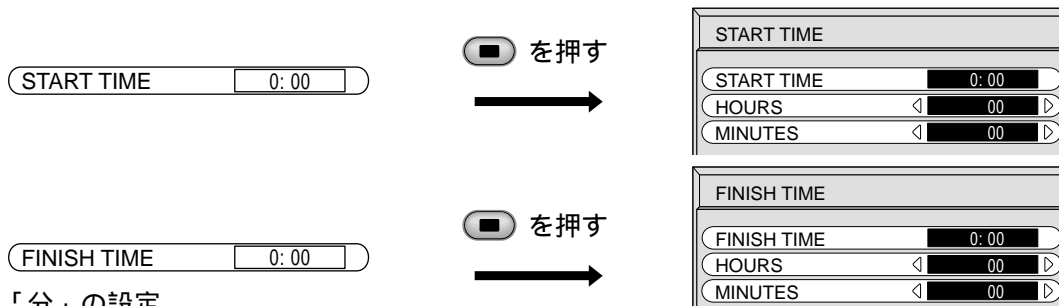
周期時間 [ SHOW DURATION ]、動作時間 [ SAVER DURATION ] の設定 ( INTERVAL を選択のとき )



「時間」、「分」の設定

- ▲ または ▼ を押し [ HOURS ] ( “時” ) または [ MINUTES ] ( “分” ) にカーソルを移動します。
- ◀ または ▶ を押し、時間または分を設定します。
- を押すと確定されます。

開始時間 [ START TIME ]、終了時間 [ FINISH TIME ] の設定 ( TIME OF DAY を選択のとき )



「時間」、「分」の設定

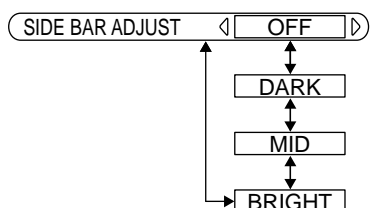
- ▲ または ▼ を押し [ HOURS ] ( “時” ) または [ MINUTES ] ( “分” ) にカーソルを移動します。
- ◀ または ▶ を押し、時間または分を設定します。
- を押すと確定されます。

**お願い** 現在時刻 [ PRESENT TIME OF DAY ] を設定してから設定してください。( 30 ページ )

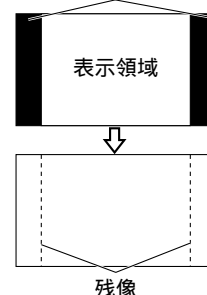
## サイドパネル調整 [ SIDE BAR ADJUST ]

4 : 3 の映像を長時間にわたり表示したとき画面両サイドの黒部分と表示領域の境に残像が発生する場合があります。

このような残像の発生を軽減するため、あらかじめ黒部分の明るさを設定します。



黒部分 ( サイドパネル )



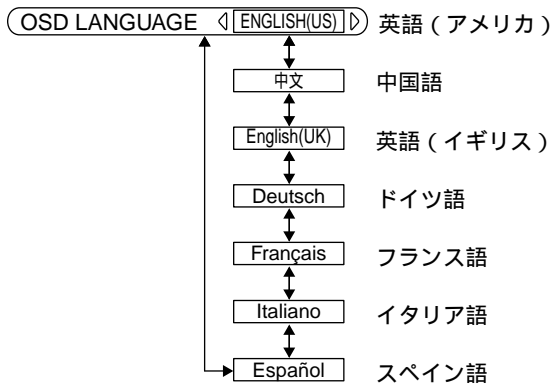
**お願い** 映像のシーンにより黒部分 ( サイドパネル ) がちらつく場合があります。その場合は映像メニュー [ PICTURE MENU ] を [ CINEMA ] に切り換えてください。( 23 ページ )

必要  
な  
と  
き

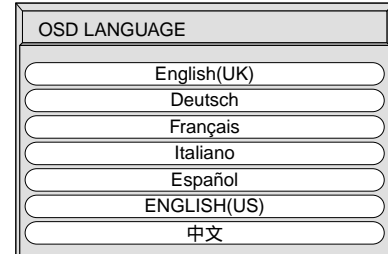
## 各機能の初期設定 (SET UP)

### ■ 表示言語切り換え [ OSD LANGUAGE ]

切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。



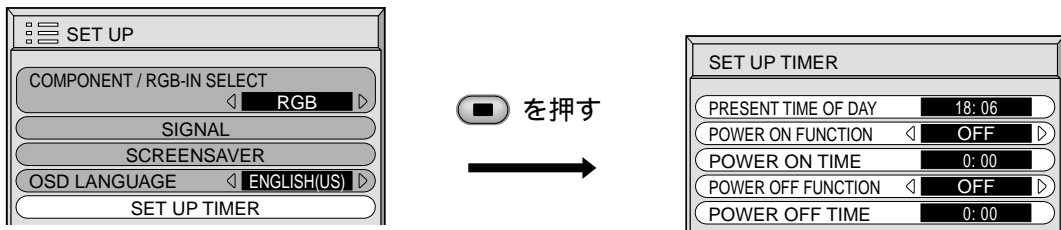
本機を設置し、初めて電源を入れたときに出画する画面 (「表示言語設定」画面)



この画面は一度設定すると次回からは表示されません

### ■ タイマー設定 [ SET UP TIMER ]

現在時刻設定と本体の電源を「入」、「切」するタイマー設定ができます。

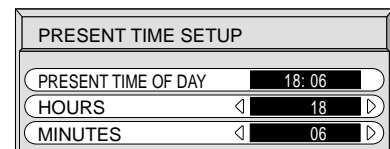
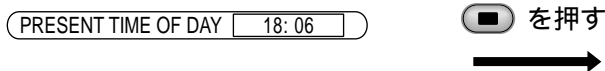


#### 現在時刻 [ PRESENT TIME OF DAY ]

現在時刻を表示します。(「99:99」と表示されている場合は、未設定となっています。)



現在時刻 [ PRESENT TIME OF DAY ] を設定するには



「時間」、「分」の設定

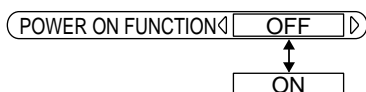
または を押し [HOURS] (「時」修正) または [MINUTES] (「分」修正) にカーソルを移動します。

または を押し、時間または分を設定します。

を押すと確定されます。

#### 電源オン機能 [ POWER ON FUNCTION ]

設定時刻になると本機の電源を「入」にするタイマー設定を「ON」、「OFF」します。



電源オン時刻 [ POWER ON TIME ]  
設定された電源オン時刻を表示します。

POWER ON TIME 0:00

電源オン時刻 [ POWER ON TIME ] を設定するには

POWER ON TIME 0:00

を押す



POWER ON SETUP	
POWER ON TIME	0:00
HOURS	00
MINUTES	00

「時間」、「分」の設定

または を押し [HOURS] (“時”修正) または [MINUTES] (“分”修正) にカーソルを移動します。

または を押し、時間または分を設定します。

を押すと確定されます。

電源オフ機能 [ POWER OFF FUNCTION ]

設定時刻になると本機の電源を「切」にするタイマー設定を「ON」、「OFF」します。

POWER OFF FUNCTION OFF

ON

電源オフ時刻 [ POWER OFF TIME ]

設定された電源オフ時刻を表示します。

POWER OFF TIME 0:00

電源オフ時刻 [ POWER OFF TIME ] を設定するには

POWER OFF TIME 0:00

を押す



POWER OFF SETUP	
POWER OFF TIME	0:00
HOURS	00
MINUTES	00

「時間」、「分」の設定

または を押し [HOURS] (“時”修正) または [MINUTES] (“分”修正) にカーソルを移動します。

または を押し、時間または分を設定します。

を押すと確定されます。

お願い

現在時刻 [ PRESENT TIME OF DAY ] を設定してから設定してください。( 30 ページ)

必要  
な  
と  
き

# 修理を依頼される前に...もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参 照 ペー ジ
画面に光らない点がある	プラズマディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります、これは故障ではありません。	—
電源が入らない	コンセントまたは本機から電源プラグが外れていませんか。	16
リモコンが操作できない	電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。 リモコン受光部に外光や蛍光灯の強い光があたっていませんか。 本機専用のリモコンを使用していますか。(他のリモコンでは動作しません)	9
本機から時々、 「ピシッ」と音がする	画面や音声に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他には影響ありません。	—
画面にはん点が出る	自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けていませんか。	—
色あいが悪い、色が薄い	色の濃さ、色あいの調整がずれていませんか。(映像の調整値をご確認ください。)	23・24
色模様がでたり 色が消える	他のテレビから影響(妨害電波)を受けていませんか。 本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
ズームにしたとき画面 の上または下が欠ける	映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。 画面位置の調整をしてください。	26
ズームにしたとき画面 の上下に映像の出ない 部分ができる	16:9より横長の映像ソフト(シネマサイズのソフトなど)のときは、 画面の上下に映像のない部分ができます。	20・21
映像の輪郭が チラチラする	パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがありますが、故障ではありません。	—
内部から音がする	電源を入れると、ディスプレイパネルの駆動音が聞こえる場合があります。故障ではありませんので、ご了承ください。	—
色が極端に悪い	コンポーネント入力切り換えの「COMPONENT」、「RGB」は正しく 選択されていますか。	27
本機から 「ヒュンヒュン」と音が する	本機は静音タイプの冷却用ファンを搭載していますが、夜間など静かな環境ではファンの風切り音が聞こえる場合があります。 また排気孔からのほこりが壁に付着することもありますので設置場所にご注意願います。	—
映像がでるまでに 時間がかかる	本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたときやチャンネルを切換えたとき映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—



# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 1. 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

## 2. 保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。  
(ただしプラズマディスプレイパネルの焼き付きは除く)

## 3. 修理を依頼されるとき

32 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は  
保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは  
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。  
ただし、本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。  
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理料金の仕組み  
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。  
**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。  
**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。  
**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容	
ご 氏 名	
ご 住 所	付近の見取図、目印など。
電 話 番 号	呼び出しでもけっこうです。
製 品 名・品 番 お 買 い 上 げ 日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	詳しくお願いします。
訪 問 ご 希 望 日	ご都合の悪い日もあわせて。

必  
要  
な  
と  
き

# 仕様

本体	品番	TH-42PHD5	TH-50PHD5
	種類	ハイビジョンプラズマディスプレイ	
	使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz	
	消費電力	375W	495W
		本体電源「切」時 約 0.8 W、リモコンで電源「切」時 約 2.4 W	
	音声実用最大出力	16 W (8 W + 8 W) [専用スピーカーを使用]	
	プラズマディスプレイパネル	駆動方式 AC型	
		42V型 (アスペクト比16:9)	50V型 (アスペクト比16:9)
	画面寸法	幅 92.0 cm 高さ 51.8 cm 対角105.6 cm	幅 110.6 cm 高さ 62.2 cm 対角126.9 cm
	画素数	786,432画素 (横1,024 × 縦768) [ドット数3,072 × 768]	1,049,088画素 (横1,366 × 縦768) [ドット数4,098 × 768]
	動作使用条件	温度: 0 ~ 40	湿度: 20 % ~ 80 %
	接続端子	ビデオ出力 映像 : 1 V [p-p] (75 ) ビデオ入力 { 映像 : 1 V [p-p] (75 またはハイインピーダンス:自動切換) S2映像 Y : 1 V [p-p] (75 ) C : 0.286 V [p-p] } コンポーネント (色差) Y/G : 1 V [p-p] 同期信号を含む ビデオ/RGB入力 PB/CB/B : ± 0.35 V [p-p] PR/CR/R : ± 0.35 V [p-p] HD : 1.0 ~ 5.0 V [p-p] VD : 1.0 ~ 5.0 V [p-p] 音声左・右: 0.5 V [rms] パソコン入力 (XGA対応: マルチスキャン方式) DDC1/2B対応 *対応周波数: 水平15.5 kHz ~ 110 kHz 垂直48 Hz ~ 120 Hz (但し表示ドットがXGA規格を超える信号は簡易表示) RGB (ミニD-sub15P) 音声左・右: 0.5 V [rms] シリアル.....外部制御用端子 外部スピーカー端子 (6 )	
	外形寸法	幅 102.0 cm 高さ 61.0 cm 奥行8.9 cm	幅 121.0 cm 高さ 72.4 cm 奥行9.8 cm
	質量	30.0 kg	43.0 kg
キャビネット材質	前面: 樹脂 バックカバー: 金属		

リモコン	品番	EUR646525
	使用電源	DC 3 V (単3形乾電池2コ)
	操作距離	約 7 m以内 (プラズマディスプレイ正面距離)
	質量	約 130 g (乾電池含む)

テレビのV型(42V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。  
 本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。  
 (This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

商標について  
 XGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。  
 Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。  
 PC-98 は日本電気(株)の商標です。  
 なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



